

➤ 継続的な運行のためには、住民のモチベーションを維持・向上させる工夫が重要。

知恵袋 乗車率・収支率等の定量的目標値により住民のモチベーションを維持・向上

⇒ **行政運営のバスから地域住民主体のコミュニティタクシーへの移行[山口市]**

- ・山口市では、地域主体のコミュニティタクシーの運行において、運賃や協賛金だけでは賄えない費用の不足分に対し補助を行っているが、乗車率や収支率の目標といった一定の基準を設けている（乗車率 30%以上、収支率 30%又は 25%以上<地域性で決定>）。
- ・費用の不足分を 100%補助してもらうためには、乗車率と運賃・協賛金等の収入による収支率の目標を 3 年以内の間に達成しなければならない。
- ・このような目標があることで、「自分たちがコミュニティタクシーを支えなければいけない」という住民のモチベーションの維持・向上につながっている。

知恵袋 ボランティアへのフォローをしながら運転手を確保

⇒ **自家用車を活用したボランティアによる輸送サービス[愛知県豊根村]**

- ・過疎地有償運送の先駆的存在である愛知県豊根村でもボランティアの運転手は高齢者が多く、運行開始後も、ボランティアの安定的な確保が課題となっている。
- ・この課題に対する妙案はないが、豊根村では、ボランティアとの間で年 1 回の意見交換の場を設けるなどして、ボランティアの要望等を受け付け、運営の改善に活かしている。